

地域環境美化功績者功績内容等

| 県 別 | 氏 名 | 活 動 内 容 | | 功 績 |
|-----|--|--|--|--|
| 北海道 | <p>室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会 (むろらんいたんきはまなりすなをまもるかい)</p> <p>会長 菊地 富子</p> | <p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> | <p>室蘭市イタンキ浜の保全活動(清掃活動、観察会など)</p> <p>9年</p> <p>10日程度</p> | <p>平成9年3月「室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会」発足</p> <p>平成12年7月室蘭海上保安部から感謝状を授与</p> <p>平成16年6月環境保全活動功労者表彰(知事感謝状)</p> <p>室蘭市は鉄の街として知られる北海道有数の工業・港湾都市であるが、イタンキ浜のある室蘭半島の外洋側はその多くが崖地となっていることなどから、多くの優れた自然環境が残されている。</p> <p>「鳴り砂」とは、上を歩くと「キュッ、キュッ」と音を出す砂地のことで、海岸や海水が汚染されると音を出さなくなることから、汚染のない浜辺のバロメーターとされており、イタンキ浜の鳴り砂海浜は、規模が大きく大都市近郊では全国的にも希少なものとなっており、「北海道自然環境保全指針」に基づく「身近な自然」に選定されている。</p> <p>同会は、イタンキ浜の鳴り砂を保全することを目的として発足して以来、4月から10月に月1回程度、会員のほか、一般市民、児童、生徒、室蘭市役所などの行政職員によりペットボトル、漁網、ビニール袋などが流れ着いた海岸の清掃活動を行ってきたほか、鳴り砂に関する観察会や学習会の開催などを通じて環境の保全及び意識の啓発に貢献している。</p> <p>また、市内小中学校などに対して講師活動や総合学習への協力を行うなど、環境学習の推進にも貢献している。</p> <p>快適な生活環境の確保を目的として制定された「北海道空き缶等の散乱の防止に関する条例」に基づいて鳴り砂海岸(イタンキ浜)が平成16年6月「環境美化促進地区」に指定されているが、これは当地区における会の取り組みが北海道の環境美化に対する取り組みのモデル的な役割を担う地区となることが期待されるもので、このような同会の取り組みに対し平成16年6月、知事から感謝状を授与されている。</p> <p>・平成12年10月に室蘭市、「室蘭イタンキ浜鳴り砂を守る会」及び「全国鳴き砂(鳴り砂)ネットワーク」(事務局:(財)日本ナショナルトラスト)が共催で「全国鳴き砂(鳴り砂)サミットIN室蘭」を開催</p> |
| 青森県 | <p>若松 兼蔵 (わかまつ かねぞう)</p> | <p>対象活動</p> <p>従事年数</p> <p>年間活動日</p> <p>活動範囲</p> | <p>馬淵川の支流である浅水川の清掃、水質調査、ごみ不法投棄看板の設置、河川美化を啓発する標語・ポスターの募集・表彰当。</p> <p>昭和60年4月から、三条目老人クラブへ加入し、川の清掃活動に参加。昭和63年「浅水川をきれいにする会」設立当初から事務局長を務め、平成4年に会長に就任し、会が解散した平成17年までの約20年間にわたり浅水川の清流化に尽力。</p> <p>13回、その他に会議を8回開催(15年度実績)</p> <p>清掃活動範囲は浅水川全流域約35km</p> | <p>「浅水川をきれいにする連絡協議会」は浅水川流域の老人クラブで組織された環境美化活動団体である。若松氏は同協議会が発足する昭和63年以前から、浅水川流域の清掃活動に積極的に取り組んでいた。昭和63年、同協議会設立後は事務局長を務め、平成4年からは会長に就任し、会のリーダーとして指導力を発揮し、地域住民や児童生徒との共同清掃を行うなど、約20年の長きにわたり地域環境美化に多大な貢献をした。</p> |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|----------------------------------|-------------------------------|--|--|
| 秋田県 | 道城希望会 (どうじょうきぼうかい) 会長 津幡保三 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 植栽等の緑化活動、道路等の清掃活動 42年 約150日 主要地方道二ツ井・森吉線沿道 | 老人クラブ設立以来42年間、環境美化活動や清掃活動に取り組んでいる。 特に、平成10年からは地域内の県道（主要地方道二ツ井・森吉線）の沿道800mにわたり花々を植栽し、お盆にはひまわりで帰省客を歓迎し、100キロチャレンジマラソンの時期にはマリーゴールドでランナーを和ませるな老人クラブ設立と、花の希望ロードとしてドライバーや道行く人々にも親しまれている。 また、地域の清掃活動（空き缶拾い、集落内クリーンアップ等）、美化運動の啓発活動も積極的に行っている。 これらの活動により、この地域は、空き缶やごみのポイ捨ての量が特に少ない地域となっており、環境美化活動や清掃活動の功10月環境・保健事業功労者秋田県知事表彰「地域環境美化功労者」として表彰される。績は大なるものがある。 平成17年10月 環境・保健事業功労者秋田県知事表彰「地域環境美化功労者」として表彰される |
| 山形県 | 志田 幹雄 (した みきお) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 山形県自然公園管理員として、磐梯朝日国立公園（志津地区）の緑化、清掃、浄化活動や美化思想の普及啓発 15年 年間100日以上 磐梯朝日国立公園 志津地区 | 平成3年4月 山形県自然公園管理員（現在に至る） 磐梯朝日国立公園の自然公園管理員として、登山道の維持管理を長年にわたり行うとともに、清掃活動も積極的に行い、公園内の景観・清潔の保持に尽力してきた。 また、年間数多く訪れる登山・スキー客に対して、ゴミの持ち帰りの指導や、公園利用のマナーについての普及啓発に努め、地域環境の美化に貢献をしている。 |
| 福島県 | 渡邊 満洲・トシ子 (わたなべまんしゅう・としこ) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 海岸の清掃美化 約18年間 ほぼ毎日 相馬市全域（特に松川浦） 「福島県道路愛護会会長賞」 「東北地方整備局港湾関係功労者表彰」 「日本善行賞」 | 昭和63年 4月 美化活動を始める 平成14年 4月 福島県自然保護指導員（渡邊 満洲） 平成14年11月 相馬市不法投棄監視員（渡邊 満洲） 渡邊満洲さんの定年退職後の63年から、18年にわたり夫婦で地域内のボランティア活動に取り組んでおり、特に松川浦海岸（大洲）の清掃美化活動については、日常活動としてほぼ毎日、5kmにも及ぶ海岸沿いの道路のゴミ拾いを乗用車を使用しながら移動し行うなど積極的に取り組んでいる。 活動地区は、松川浦県立自然公園で観光客も多く、地域住民からも大きな評価を得ており、地域環境の美化に大いに貢献した。 また、相馬市不法投棄監視員として、日頃市内の環境美化に尽力している。 「“うつくしま、ふくしま”環境顕彰」 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|---|-----------------------------------|---|---|
| 福島県 | 下郷町赤十字奉仕団 (しもごうまちせきじゅうじほうしだん) 委員長 五十嵐喜子 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 町内の福祉施設や駅の清掃作業等の環境美化活動 18年 特老下郷ホーム・町老人センター(年6回) 町内5駅(毎月1回・年12回以上) 各地区(各分団)における環境美化活動(随時) 町内全域 平成14年10月16日 東北運輸局長功労表彰 平成14年10月30日 県社会福祉協議会長表彰 平成15年10月14日 国土交通大臣功労表彰 平成17年7月7日 県クリーンふくしま運動推進協議会長表彰 | 平成元年1月 設立 社会福祉施設(特老下郷ホーム・町老人センター)、町内5駅、各地区における環境美化活動開始する。 下郷町赤十字奉仕団は平成元年1月の設立以来、町ボランティア活動の草分けとして、かつ中心的役割を果たす団体として、町環境美化活動等永年にわたり尽力している。 会員は、各行政区の40代以上の主婦がほとんどである。各地区での美化運動・社会福祉施設・駅舎内外の清掃と、町内の環境美化、観光発展に大きく貢献している。 また、今後とも地域に欠かせない存在として、活動の継続が期待される。 【表彰歴】 平成15年 6月24日 うつくしま、ふくしま環境顕彰(団体) |
| 福島県 | 矢内 一男 (やない かずお) 白河市保健委員会副委員長 | 対象活動 従事年数 年間活動 活動範囲 | 不法投棄撤去作業、不法投棄巡視、市保健委員会事業への参加協力 19年 年間87日 地元町内及び市内 昭和61年5月～現在 白河市保健委員会代表保健委員 平成3年5月～平成14年4月 白河市保健委員会幹事 平成12年5月～平成17年5月 白河市町内会連合会副会長、白河市保健センター審議員 平成12年5月～現在 白河市環境美化運動連絡協議会副会長、社会福祉協議会役員 平成12年4月～現在 福島県産業廃棄物不法投棄監視員 平成14年5月～現在 白河市保健委員会副委員長 【表彰歴】 平成9年5月 白河市保健委員会功労者表彰、社会福祉協議会功績者表彰 平成10年11月 県南地区保健委員会功績者表彰 | 1. 活動内容 ・地元町内の定期的な不法投棄撤去作業 ・白河市保健委員会事業への積極的な参加協力 ・不法投棄の撤去作業 ・毎年10月の1ヶ月間の不法投棄巡視 2. 活動従事年数及び年間の頻度 ・活動年数19年 ・年間87日 ・市内一斉清掃 年1回 ・不法投棄撤去作業 年2回 ・町内清掃 年3回 ・不法投棄の巡視 3回 ・資源回収運動 4回 ・産業廃棄物投棄の巡視 45回 福島県産業廃棄物不法投棄物監視員、白河市保健委員会役員として、又、地区保健委員として多年にわたり、不法投棄物の撤去作業や、河川・道路等の清掃活動に積極的に取り組んでいる。これは、当市の保健衛生・環境美化の向上に貢献するものである。また、集積所の監督や不法投棄の巡視、資源回収活動を行い、地域住民に対して公衆衛生及び環境衛生の啓蒙にも取り組んでいる。 平成12年 6月 “うつくしま、ふくしま。”環境顕彰 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|---|-----------------------------------|--|--|
| 茨城県 | 二田 政夫 (にた まさお) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 地域環境美化 22年以上(病気入院療養による非従事年数を除く。) 約180日 本人が居住している住宅団地一体 | 氏は、昭和50年代に北茨城市南部に開発された住宅団地(中郷ニュータウン)に昭和53年に居を移して以来、団地内道路の街路樹ます80ヶ所の草刈りや、道路沿いに捨てられたゴミの回収を行っている。 団地内には、2500㎡の大規模な公園があり、同氏はその中に四季の花を植栽し、きれいな花を咲かせるとともに、公園維持管理清掃を実践することで潤いのある生活環境の保全に貢献し、1100戸ある団地住民に対する環境美化の意識高揚を図っている。 宿根草の株分け増殖も実施し、花の苗や種の購入も自費で対応している。 茨城県環境保全功労者表彰(平成16年度) |
| 栃木県 | 那須塩原市立三島中学校生徒会 (なすしおばらしりつみしまちゅうがっこうせいとかい) 学校長 加藤 政雄 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 除草・清掃活動 44年間 年1回 烏ヶ森公園内とその周辺 | 都市計画公園烏ヶ森公園は、那須塩原市の西那須野地区(旧西那須野町)のほぼ中心部に位置し、桜から紅葉まで四季折々の自然が楽しめる公園として、多くの人々に親しまれている。 那須塩原市立三島中学校生徒会(旧西那須野町立三島中学校生徒会)は、昭和37年頃から、草むしりやゴミ拾いの他、トイレ、野外ステージ、側溝等の施設清掃並びに公園周辺のゴミ拾いなどの清掃奉仕活動に全校を挙げて取り組み、公園の緑と地域環境の美化に尽力している。 また、40年以上もの長きにわたり活動を継続しており、その間に訪れた来園者の公園美化・緑化意識の高揚にも大きく貢献している。 【表彰歴】 昭和62年10月 第5回栃木県「みどりと公園の愛護」功労者知事表彰 平成16年10月 第22回栃木県「みどりと公園の愛護」功労者知事表彰 |
| 群馬県 | 高崎市立矢中中学校 (たかさきしりつやなかちゅうがっこう) 校長 池田 達則 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 花づくり活動や緑化活動を教育の基本において、花のある学校づくりに取り組んでいる。 開校以来21年間 土・日曜、祝祭日を除く毎日 校舎壁面、花壇での栽培、地域の施設、生徒の家庭への配布 | 矢中中学校では、地域に開かれた学校づくりを目指して花づくり活動や緑化活動を教育の基本において、花のある学校づくりに取り組んでおり校舎ベランダのペチュニアによる花飾りは、創造性にあふれて花を通じての情操教育に効果をあげている。 また、「花づくりの輪を広げよう」をテーマに、生徒全員が育てたペチュニアの苗をプランターに植えて公共施設等へ配布するなど、花を通じての地域交流活動も盛んに行われ、PTAや地域住民もこの活動に賛同し熱心に取り組み、学校の中だけの活動ではなく地域住民も取り巻く大きな活動に発展し、その成果は高く評価されるものである。 第27回全国花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 第1回全国花のまちづくりコンクール建設省都市局長賞受賞 第2回全国花のまちづくりコンクール建設大臣賞受賞 平成7年全国小・中学校環境教育奨励賞受賞 第3回・第4回群馬県環境教育賞奨励賞受賞 高崎市花いっぱいコンクール会長賞・市長賞・最優秀賞受賞 ・平成13年10月 群馬県環境賞受賞 ・平成14年 2月 高崎市都市景観賞(活動部門) 10月 群馬県花いっぱい運動コンクール最優秀賞 10月 高崎市花いっぱいコンクール最優秀賞 ・平成15年10月 高崎市花いっぱいコンクール最優秀賞 ・平成16年10月 高崎市花いっぱいコンクール最優秀賞 ・平成17年10月 群馬県都市緑化祭特別賞 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | 功績 |
|-----|--|---|---|
| 群馬県 | 群馬県立中之条高等学校 農業クラブ (ぐんまけんりつなかのじょうこうとうがっこう の うぎょうくらぶ) 校長 寺崎 保 | 対象活動 「花いっぱい運動」を毎年実施するとともに、現在は地域環境に関するプロジェクト研究を推進している。 従事年数 29年 年間活動日 植花活動の中心は5月～10月、プロジェクト活動は通年行っている。 活動範囲 プロジェクト研究。中之条町の小・中学校との交流事業、吾妻郡内の地域の方々との植栽活動。 | 昭和52年 「花いっぱい運動」を開始、以後毎年実施 昭和61年 全国花いっぱい運動で厚生大臣賞受賞 昭和62年 「花いっぱい運動」県知事賞を受賞 平成4年 「花いっぱい運動」県文化的活動表彰 平成11年 「花いっぱい運動」日本善行会表彰 10月 群馬県環境教育フェアへ参加(展示発表)以降平成15年度まで参加 平成13年11月 群馬県環境教育賞優秀賞 平成15年10月 環境教育フェスタ全国大会へ参加(尾瀬高校) 12月 "日本学生科学賞群馬県審査 優秀賞「キャベツを利用したグリーンペーパーの製作と利用に関する研究」食品文化班" 平成16年 2月 「ゴミから開発した農業資材」で群馬県初の高校生による特許の出願 11月 群馬県環境教育賞「花いっぱい奉仕活動と私たちのエコプロジェクト」最優秀賞受賞 12月群馬県創意くふう展「ゴミから開発した農業資材」関東経済産業局長奨励賞受賞 全国審査へ出展 12月 日本学生科学賞群馬県審査 最優秀賞「エコプロジェクト」環境研究グループ 中央審査会へ出展 平成17年 9月 吾妻県民局地域フロンティア推進事業にプロジェクト活動が指定される 10月 第12回花トピアコンクール群馬県審査会 団体の部「地域に根ざした奉仕活動」優秀賞 11月 群馬県環境教育賞「花いっぱい奉仕活動と課題研究」最優秀賞受賞 12月 群馬県創意くふう展「太陽熱を利用した土壌消毒装置」群馬県産業人クラブ賞受賞 平成18年 3月 「産業財産県標準テキストの有効活動に関する実験協力校」に指定される ・昭和52年から「花いっぱい運動」を毎年実施し、生徒自身が育てた花卉苗による植栽活動を行っている。 ・平成14年には国道145号線のロータリーに苗1500本、吾妻警察署に苗700本を植栽した。 ・近年は地域へ大きく広げた活動を進めており、平成15・16年度に文部科学省「みんなの専門高校プロジェクト推進事業」の指定を受けて、小中学生や地域住民の方々とともに地元公共施設の植栽活動を行うようになった。 ・平成12年より群馬県環境教育フェアへ参加し、プロジェクト研究について展示発表を行った。 ・農業クラブプロジェクト活動では、平成10年度より地域環境に焦点をあてた課題を取り扱う。 平成10年～現在 「シュレッダー屑とコーヒーかすの敷き料利用による畜舎環境の改善」畜産班 学校現場でも大量に排出されているシュレッダー屑を活用するために、畜舎の敷き料としての活用の研究を行った。 平成12～13年 「花いっぱい運動の改善」草花班 花いっぱい活動で使用する苗生産で効率よく作業をするための工夫を |

| 県 別 | 氏 名 | 活 動 内 容 | 功 績 |
|-----|-----|---------|---|
| | | | <p>求めた研究を行った。</p> <p>平成14～16年 「私たちのエコプロジェクト ゴミから新農業資材の開発」環境研究班 苗作りに必要な土壌の代わりにシュレッダー屑等の産業廃棄物を活用することをめざして始まった。シュレッダー屑とこんにやく精製時にできる飛び粉を活用して、固めて使う方法を考え、ポット、水耕栽培用資材、育苗苗用マットを作り、平成16年2月に高校生による特許出願を果たした。</p> <p>平成14～15年 「孀恋余剰キャベツを活用したグリーン・ペーパーの製作と利用法に関する研究」食品文化班 孀恋村の余剰生産物として処分されているキャベツの有効利用として、キャベツの繊維からキャベツ栽培で使用するペーパーポットを作る研究を進めた。</p> <p>平成16年～現在 「太古の知識を現代に サイカチ液の普及への挑戦」食品文化班 中之条町市城には「日本一のサイカチ」と称される巨木があり、その実は古く日本書紀によると洗剤や殺菌剤として使用されていた。地域環境の保全のために植物由来の天然界面活性剤を活用する研究を進めた。</p> <p>平成17年～現在 「私たちのエコプロジェクト 脱・臭化メチルへの挑戦」環境研究班 農業で土壌消毒を行う臭化メチルの代替法を考案するために、ビニル温室での太陽熱を利用した熱水消毒法の研究を進めた。</p> <p>・平成17年度より地域環境を主題として進めてきたプロジェクト研究をより地域に普及させることを目的として、吾妻県民局地域環境フロンティア事業に指定された。そのため、文化祭での研究発表会や小学校への出張授業、吾妻県民局祭等のイベントに参加した。今年度も継続する予定である。</p> |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|---|---|--|---|
| 千葉県 | <p>クリーン船橋市民会議 (くりにんふなばししみんかいぎ)</p> <p>議長 清水 光明</p> | <p>年間活動日 活動範囲</p> | <p>200日以上 船橋市域全体</p> | <p>・昭和53年 7月 クリーン船橋市民会議設立 ・昭和56年11月「船橋をきれいにする日」に市と共同で市民総ぐるみの一斉清掃活動に毎年取り組む クリーン船橋市民会議は、市民自ら生活環境を守り、清潔で住みよい船橋市を造るため生活環境を整備の推進を目的に、昭和53年7月に設立した。 昭和56年からは、船橋市が「船橋をきれいにする日」として指定している毎年11月第3日曜日に市と共同で、天沼弁天池公園を主会場に、市内55カ所の全小学校を地区会場とした市民総ぐるみの一斉清掃活動を行い、市民への清掃活動の普及啓発に熱心に取り組んでいる。 また、クリーン船橋市民会議を構成する団体においても、それぞれの地区で、年間200日以上、地域の清掃活動を活発に行うなど、その活動は年間を通して市域全体にわたるものであり、地域の環境美化に多大なる貢献をしている。 クリーン船橋市民会議の構成団体の主な活動内容は次のとおりである。 海老川をきれいにする企業の会(毎月1回以上、海老川の清掃)、 船橋郵便局(毎週、本町周辺の清掃)、 倫理研究所京葉支所(年間を通して、市内全域の清掃) 昭和63年 6月 地域環境功労者知事感謝状を受賞</p> |
| 新潟県 | <p>加治地区まちづくりをすすめる会 (かじちくまちづくりをすすめるかい)</p> <p>会長 木伏 文雄</p> | <p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> | <p>国道7号線脇の花壇造成(7種類、3200本) 13年間 毎年3月下旬の耕運～11月中旬の花壇終了 国道7号線の花壇</p> | <p>毎年2月 年度の花壇計画の確認 3月 耕運、施肥 花の植栽日(5月中旬) 6～9月 除草(実行委員、老人クラブ) 5～9月 水やり(当番制) 11月中旬 花壇終了、花壇の整理と反省会 【表彰歴】 ・新潟県知事より、新潟県都市緑化功労賞を受賞(平成10年度) ・「第10回全国みどりの愛護」功労者団体として、建設大臣賞を受賞(平成11年度) ・まちづくり活動の顕著な実績が認められ、新潟県自治活動賞(県知事賞)を受賞(平成11年度) ・花いっぱい運動の献身的な努力が認められ、全日本花いっぱい連盟より表彰状を受賞(平成13年度) ・日本道路協会より、道路美化事業の功績が認められ、表彰状を受賞(平成14年度) ・道路美化の功績を認められ、国土交通省北陸地方整備局長より感謝状(平成16年度) ・地域の優れた環境保全活動が認められ、第10回新潟県環境賞受賞(平成17年度) ・新潟県花いっぱいコンクール 優秀賞(平成13、16、17年度)、優良賞(3回) ・新発田市花壇コンクール 最優秀賞(平成8、10、13、16、17年度)、優秀賞(4回)</p> |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|--|-------------------------------|---|--|
| 新潟県 | 佐渡市立 内海府中学校 (さどしりつ うちかいふちゅうがっこう) 校長 渡辺 淳 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 毎年4月 平成8年から海府観光協会主催による大野亀台地のトビシマカンゾウ定植ボランティア参加。 毎年7月 昭和60年から「日本の水浴場88選」に選ばれている二ツ亀海水浴場の清掃活動を実施。 毎年11月 昭和61年5月から森林組合に提供いただいている実習林において、年1回育林作業を実施。 毎年5月 昭和58年から地域の方の指導のもと椎茸の菌打ち作業を実施。春と秋に収穫作業を行う。干し椎茸にし学区の一人暮らしの高齢者の方に配布する。 | 昭和22年 5月 内海府村立内海府中学校として開校 昭和29年 11月 町村合併により両津市立内海府中学校と改称 平成16年 3月 市町村合併により佐渡市立内海府中学校と改称 【表彰歴】 昭和63年 環境美化活動模範校として県知事表彰 造林功労で新潟県国土緑化推進委員長より表彰 平成14年 両津海上保安署より海岸清掃表彰 平成17年 新潟県環境賞を受賞 環境美化教育優良校等表彰で最優秀校に選ばれ農林水産大臣賞を受賞 |
| 富山県 | 北角 孝夫 (きたかど たかお) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 不法投棄監視・地域美化活動 25年 週一回の不法投棄監視パトロール・年4回の地域美化清掃 射水市 金山地区 | 昭和56年に旧小杉町青井谷町内会の環境保健衛生委員となり、以来、地域の環境衛生組織のリーダーとして、ごみ集積ステーションの清掃、衛生害虫の駆除、クリーン作戦の実施、不法投棄防止パトロール等地域の環境美化活動に取り組み、率先して行動する等、美しいまちづくりに多大な効果をあげている。 また、昭和60年の旧小杉町環境保健衛生協議会理事となり、平成6年7月からは、旧小杉町廃棄物不法投棄監視員として、クリーンアップ小杉推進運動、環境パトロール等に指導力を発揮し、地域の環境美化活動の気運を盛り上げ、ポイ捨てのない美しいまちづくりに貢献している。 平成17年11月に周辺5市町村が合併して射水市となった現在でも、射水市廃棄物不法投棄監視員として、以前と変わらぬ行動力・指導力をもって、射水市の環境美化活動を支えている。 昭和56年 4月～平成5年 3月 小杉町環境保健衛生委員 昭和60年 4月～平成5年 3月 小杉町環境保健衛生協議会理事 平成 6年 7月～現在 射水市廃棄物不法投棄監視員 【表彰歴】 昭和59年 小杉町環境保健衛生協議会長表彰 昭和62年 小杉保健所管内保健衛生協議会会長表彰 平成 5年 富山県県土美化推進県民会議会長表彰 平成13年 環境部門功労(県土美化分野) |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|---|-----------------------------------|--|--|
| 山梨県 | 芦川村立芦川中学校 (あしがわそんりつあしがわちゅうがっこう) 校長 石川 義人 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | すずらんの森清掃活動、河川清掃、地域集落の寺・神社の清掃(夏休)、地域の通学路ゴミ空き缶拾い 20年 5月～11月 全村行政区・河川・スズランの森 | 昭和60年 5月 生徒会によるスズランの森清掃活動 昭和62年 7月 芦川河川清掃(生徒会参加)、地域集落・寺・神社清掃活動 平成4年 4月 芦川中学校みどりの少年・少女隊結成、スズランの森清掃・看板・巣箱の設置 平成13年 5月 みどりの少年・少女隊によるスズランの森全域、新道峠クリーン作戦の展開 平成14年 5月～11月 生徒会による通学路ゴミ空き缶拾い清掃活動 平成15年 9月 生徒会手作りの菊づくり、公共施設へ寄贈 昭和60年より芦川村「芦川スズランの里まつり」が実施されるようになった。それに伴い、村の方々と全生徒が一緒になり、スズランの森の清掃を行うようになった。 平成4年に「みどりの少年・少女隊」が発足し、芦川中の全生徒が属する「みどりの少年・少女隊」の活動として、すずらんの森の清掃も継続されていった。更に、みどりの少年少女隊の活動も年々盛んになり、県の事業に協力するとともに、地域の活動にも力を入れてきた。例えば空き缶やゴミ拾い、ゴミを無くすための看板の取り付け、巣箱の設置等多くの活動を行ってきた。 その後、芦川中の全生徒がみどりの少年少女隊に属するため、生徒会活動とも一体化し、日常的な活動も行うようになってきた。生徒会活動としての通学路のゴミ、空き缶拾い等の清掃活動や、環境美化委員会の菊づくり、きのご栽培等、継続的活動へと発展していった。 山間の人口の少ない地域ということもあり、村で行われる河川清掃や神社等の清掃にも生徒たちが積極的に参加している。また、その活動の一部は子どもクラブの行事として、小学生も参加する中で行われている。これらの活動をしていく中で、PTA(保護者)も巻き込んだ登山道の清掃や自然を学習する機会も設けられた。総合的な学習の時間や学校行事等でも地域の方々ともふれ合いながら環境美化に関する実践を行っている。 |
| 愛知県 | 六軒屋町内連合会(ふる里を美しくする会) (くろっけんやちょうないれんごうかい(ふるさとをうつくしくするかい)) 代表者 妹尾恭宏 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 河川の浄化活動及び清掃活動並びに美化思想の普及啓発活動 25年10ヶ月 13日程度 一級河川八田川及び生地川の池合橋から新興橋までの間 | 昭和55年 6月 設立 平成16年 6月 愛知県知事表彰(環境保全関係功労者表彰) 毎月実施している「河川パトロール」では、p h(水素イオン濃度)、COD(化学的酸素消費量)及び透明度を測定することによる水質異常や不法投棄の監視を行うとともに、空き缶等のゴミの回収や河川の生息動物の調査を行った。また各町内会の集会等においては、活動状況の報告を通じて生活排水対策の啓発を行った。さらに、年2回開催される「クリーン作戦」では、ゴミの回収を行った。以上のように、環境保全活動の推進に多大な貢献をされた。 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|---|-------------------------------|---|--|
| 京都府 | 白川源流と疏水を美しくする会 (しらかわげんりゅうとそすいをうつくしくするかい) 会長 村松 光男 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 2 河川流域の清掃と水質保全及び緑地管理 昭和58年12月から現在まで 22年6ヶ月 およそ60～70日 北白川学区内を流れる白川上流部(4km) 及び琵琶湖第一疏水分線(1.5km)の流域 | 同会は、北白川学区内を流れる歴史と自然豊かな白川上流部(4km)と琵琶湖第一疏水分線(1.5km)の2河川で、年間を通して全学区民を挙げて地域環境美化を目指して活動されている。 昭和58年の設立以来、「自分達の地域は自分達で守ろう」、「次代を担う子どもたちに美しい川をのこそう」を合言葉に、年4回の一斉清掃、週1回の定期パトロール(下草刈り・清掃)、水質調査等の河川美化に取り組みられるとともに、年に4回会報を発行して、地域の環境美化だけにとどまらず、地球温暖化防止など広く環境問題について呼びかけを実施されている。 【表彰歴】 平成14年 6月 京都府環境保全功労者表彰受賞 平成16年 6月 京都府府民運動推進者表彰受賞 |
| 兵庫県 | 岡本 緑 (おかもと みどり) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 高砂市内を中心とした環境美化活動 31年1ヶ月 365日 高砂市内 昭和50年4月 (社)兵庫県保健衛生組織連合会高砂支部 理事 昭和55年4月 (社)兵庫県保健衛生組織連合会高砂支部 副会長 昭和63年11月 兵庫県自治賞(婦人功労) | 昭和50年4月から(社)兵庫県保健衛生組織連合会高砂支部役員として、環境保全美化運動に貢献し、その功績は高く評価されている。 【表彰歴】 平成5年4月 兵庫県功労者表彰(女性活動功労) |
| 兵庫県 | 田中 憲 (たなか いさお) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 地区衛生組織の育成、地域の環境美化活動、住民検診の普及啓発 17年 30日 西脇市 平成元年 4月 西脇市保健衛生推進委員 平成6年 4月 西脇市保健衛生推進委員会副会長 平成 9年7月 兵庫県保健衛生組織連合会長表彰(地区衛生組織活動功労者) | 1 地域の道路、河川及び公園等公共の場所の清掃活動に率先して取り組み、地域の環境美化の向上に貢献している。 2 ごみステーションのパトロールを行ってごみの排出方法及び分別収集の徹底等について指導し、環境美化に貢献している。 3 殺虫剤の共同購入及び共同散布を行って衛生害虫の駆除に努め、衛生環境の改善に貢献している。 4 クリーンキャンペーンの実施をはじめとして地区衛生組織づくりに指導的役割を果たし、運動の推進に貢献している。 【表彰歴】 平成11年7月 兵庫県知事感謝(保健衛生・環境美化推進功労者) |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|--|-----------------------------------|--|--|
| 兵庫県 | 伊藤 洋子 (いとう ようこ) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 高砂市内を中心とした環境美化活動 25年1ヶ月 365日 高砂市内 | 昭和56年4月から(社)兵庫県保健衛生組織連合会高砂支部役員として、環境保全美化運動に貢献し、その功績は高く評価されている。 [表彰歴] 平成10年11月 兵庫県自治賞(女性活動功労) 平成15年 4月 兵庫県功労者表彰(女性消費生活功労) |
| 兵庫県 | 多可町生活環境グループ ザ・ゴミゼ ローズ (たかちょうせいいかつかんきょうぐるーぷ ザ・ ごみぜろーず) 代表 真鍋 成之 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 町内公共施設、国道、県道、町道の沿道緑化、清掃活動、自主イベントの開催、各種町主催のイベントにおいて環境啓発を行う 1 2年 2 5日 国道427号線・県道中北条線・町道北線・町道東線等 | 平成6年5月 活動開始 1 ごみ収集を中心に公共施設周辺の草刈りや花壇の手入れなど野外における実践活動のほか講演会の開催、会報誌の発行等を行って地域の環境美化に貢献している。 2 美しいふるさとの原風景を唄った童謡の歌詞を看板に書き、町内の交差点などに設置することによりごみのポイ捨て防止の普及啓発に努めている。 3 平成12年度より、ボランティアグループとして県下で最初のトライやるウィーク(中学2年生の社会体験学習)の受け入れを行い、以後も引き続き受け入れを行って、環境美化思想の普及に努めている。 4 町の広報誌に毎月、環境標語を掲載している。 5 地元小学校の環境学習会に講師として出向き、児童に環境美化について指導している。 6 いきいき県土づくりプログラム事業として、国道427号の沿道花ざかり事業、中北条線の美化トライ事業に取り組んでいる。 これらにより、環境美化、生活環境にかかる省資源、ゴミ減量、リサイクル等の推進に努め、ごみのない美しい街づくりに貢献している。 [表彰歴] 平成 9年 こうのとり賞(兵庫県知事賞) 平成12年 くすのき賞(兵庫県知事賞) 平成15年 兵庫県知事感謝(保健衛生・環境美化推進功労団体) |
| 奈良県 | 涌井 せつ (わくい せつ) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 公園、道路等の清掃活動 25年(昭和56年～) ほぼ毎日 区内神社境内、地蔵尊、道路・水路 | 昭和56年 地区内神社境内・地蔵尊・周辺道路・水路等の清掃活動を開始 平成8年 11月 クリーン・グリーン実践者表彰受賞(知事表彰) 氏が大阪から田舎暮らしを思い描いて奈良に引越してきた昭和56年当時、自宅前の道路は国道の抜け道として交通量が多いためポイ捨てが多く、水路はゴミで汚く雑草も茂り、周辺地域の環境はよくなかった。 地域の美観を損う目に余る汚れを見ていられず、自ら率先して清掃活動(ゴミ拾い・除草)を始めた。地区道路・水路(約80m)だけでなく、地区内にある神社境内(300m ²)・地蔵尊の清掃も行った。 謙虚でありながら積極的かつ献身的に活動される氏の姿は、地域住民から信頼と尊敬の念を集め、平成10年には、区長を中心に区民が定期的に神社境内・地蔵尊を清掃することとなり、氏もその清掃に参加した。 昨年、清掃活動中に怪我をしたということもあり、自宅周辺の道路・水路(約10m)に清掃活動の範囲が狭まったが、地域のあたたかい見守りの中、今も毎日のように外に出ては水路の空き缶やゴミ拾い、道路脇の草刈り・花づくりを行っている。 長年にわたる取り組みは、区民の環境美化への意識を高めるとともに、地域のコミュニティづくりに寄与し、地域の環境美化に大きく貢献している。 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|------|--|--|--|---|
| 奈良県 | <p>門前町自治会 (もんぜんちょうじちかい)</p> <p>会長 城山 輝幸</p> | <p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> | <p>公園、道路等の清掃活動 3 2 年(昭和4 8 年～) 月1 回 宝山寺参道(300m)・駐車場(2,000㎡)</p> | <p>門前町は奈良県西北部、生駒山の東山麓に位置し、当地には「商売繁盛の聖天さん」として全国に知られる生駒聖天寶山寺(いこましようてんほうざんじ)がある。寶山寺は毎年県内外から年間1 2 2 万人(平成1 6 年実績)もの参拝者が訪れる生駒市の主要観光地である。</p> <p>門前町自治会では、お参りに来られる方を気持ちよくお迎えしようと昭和4 8 年から参道(近鉄生駒ケーブル宝山寺駅から寶山寺境内までの間300m)と駐車場(2,000㎡)の清掃を開始した。この取組みは、毎月第3日曜日、全戸が参加実践することを原則に、自治会だけでなく子供会や老人会も加わり、世代間を越えた活動として地域に根付いている。</p> <p>生駒市の代表的な観光地としての、長年にわたる取組みは、住民の美化意識を高めるとともに、来訪者を気持ちよくもてなし、美しく温かいまちづくり・ひとづくりに大きく貢献している。</p> <p>昭和4 8 年 寶山寺参道・側溝及び駐車場清掃活動(ゴミ・落ち葉清掃)開始 昭和6 3 年 1 1 月 クリーン・グリーン実践者表彰受賞(知事表彰)</p> |
| 和歌山県 | <p>みなべ町花の会 (みなべちょうはなのかい)</p> <p>会長 谷地 謙三</p> | <p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> | <p>樹木(桜)の植樹・植栽・管理、花の栽培、 地域の清掃などの環境美化活動 3 8 年 月に1～3日 猪野山公園を中心に活動</p> <p>【表彰歴】 昭和54年8月31日 建設大臣渡海元三郎 道路を守る月間の表彰 昭和63年6月28日 内閣総理大臣 竹下登 緑化推進の表彰</p> | <p>私たちが、ふるさとの豊かな自然の中で暮らしている一方、世界では商業伐採、農地や牧草地への転換などにより、急速に緑(森林)が減少している。そんな現実の中、自然を愛し少しでも自然環境や生態系を守りたいという気持ちを持った者が集い、ボランティアグループとして昭和4 3 年4月に設立された。</p> <p>自然と人が共生していける環境づくりを目標に、樹木の植樹や清掃活動などを通じ、町民の環境保護意識の向上を図るための献身的な努力を続けている。町民の環境保護意識の向上を図るため、まず人が集まる場所で緑化活動を行った。最初に活動を行ったのは、斎場である。一見寂しさを漂わせる施設を緑で飾ることにより明るさを提供することができ、広く訪れる方々に緑化活動を知ってもらうきっかけとなった。その活動は同施設内にとどまらず、菊の栽培や草花育成活動を経て、町の玄関口である国道沿いを緑(花)で覆うところとなり、通行者から絶賛されるようになった。数年後、斎場は移転され、更地になった部分には、猪野山公園山・猪野山観音が建築されたが、緑化活動はとどまることがなく、周辺には桜の木が植樹された。</p> <p>現在、地道な活動が実を結び、桜の木は300本以上上っており、春には町内外から大勢の見学者が訪れ、桜の美しさに心を奪われている。</p> <p>これらの活動に、子供からお年寄りまで共感を得て地域でも注目されるようになり、自発的に清掃活動を行う団体が増え、環境美化への取り組みが全町民に広がりがつある。</p> |
| 徳島県 | <p>徳島県環境衛生組合連合会 (とくしましんきょうえいせいくみあいれんごうかい)</p> <p>会長 森 光子</p> | <p>対象活動 従事年数 年間活動日 年間活動日</p> | <p>1. 一斉清掃・地域清掃の実施 2. 環境に関する意識改革・啓発活動 3. 健康づくり運動</p> <p>4 7 年間 清掃・ゴミゼロ活動 7 日 徳島市</p> | <p>昭和3 3 年の結成以来、4 7 年にわたり、一斉清掃や地域清掃活動などによる徳島市内の美化活動を継続して実施している。また、ごみの分別収集活動や市内全域の不法投棄の調査、環境保健フォーラムの開催など、地域の環境美化に関する意識啓発活動に長く取り組んでいる。</p> <p>・一斉清掃の実施 年2 回 2 3 地区 2 0 , 0 2 4 名参加 ・地域清掃の実施 年1 回 2 3 地区 9 , 7 8 0 名参加 ・ごみゼロ阿波おどり大作戦(ごみの分別収集によるエコイベントの実施)への参加</p> <p>【表彰歴】 平成1 4 年 とくしま環境賞表彰(知事表彰)</p> |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|---|---------------------------------------|--|--|
| 香川県 | 高松市立檀紙小学校 (たかまつしりつだんししょうがっこう) 校長 尾越 久美子 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 地域の里山の保全活動、檀千人がまの築造と窯を使った環境保全活動 10年 平成17年度実績(ボランティア16回、総合的な学習の時間約15時間) 津内山、校庭 | 平成8年から津内山での活動を継続。平成16年より窯作りを開始。 ・本校では過去10年あまり、地域との連携を深め、地域の環境美化活動を進めてきた。 ・学校の北200mにある標高約60mの津内山は身近な里山であり、地域の人々によって大切に守られてきた。学校では総合的な学習の中心的な素材として観察活動を行ったり、保存会の方を招いたりして、活用と保全について理解を深め、「津内山にいいこと」を考え、4年生が中心になって実践を行ってきた。具体的には、動植物の説明板と鳥の巣箱や餌台の設置、木々の片付けや階段作りなどの活動であった。 ・平成16、17年度の両年、香川県教育委員会から環境教育の研究指定を受けたのを機に、従来の活動の見直しを図った。その基本的な考えとして、環境問題を「人間の活動に起因する問題」とであるとらえ、環境学習を「将来にわたって持続可能な暮らしについて考え、実践する活動」と位置づけた。その際、自然との共生を図り、見事なまでの循環型社会を築いてきた先人の暮らしぶりから学ぶものは大きいと考えた。そこで、地域の自然のみならず、先人の暮らしぶりとその結果生み出された伝統的な文化や産業についても学習素材とした。このことにより、環境問題を広範な視野と時間的な奥行きの中でとらえることが可能となった。その結果、本校独自の「ふるさと環境教育」として、全学年が一致して取り組むことになった。 ・2年間の成果としては、地域の伝統的な産業である御厩焼きの窯を地域と学校が協力して築き、地域を挙げてみまや焼きの復活と取り組んだことが挙げられる。鉄とコンクリートを使わず、自然の材料である木と土と土を使い、レンガに至っては、粘土を踏み木枠に容れて乾燥させることから手作りで取り組んだ。継承すべき技術の検証と掘り起こしを行うために、手間はかかっても、昔ながらの人力作業で行った。作品づくりでは粘土は地元の田の底土を使い、山で切られた木を燃料として焼成を行った。出た木炭は、水辺の環境浄化や燃料として役立てた。 ・このような一連の活動の中で、児童も教師も若い保護者もかつての循環型社会の見事さに触れ、鉄と石油とプラスチックをどんどん消費していく自分たちの生活を見直そうとする動きが広がり始めている。 ・現在里山は手入れができず、木々の立ち枯れが目立つ一方で、竹が広範に広がって驚異となってきた。津内山を手始めに竹林の間引きを行い、この竹を学校の窯で焼いて竹炭にしようという計画が現在進行中である。この炭を学校ビオトープや水路の浄化に役立て、地域にホテルやメダカの水路を復活させようということも計画中である。 ・また、窯づくりボランティアに参加した児童の間から、資源を大切に活動として、プルタブ・アルミ缶回収が始まった。最初は5年生数名の活動であったが、昼休みや朝の集会で回収を呼びかけたり、地域の祭りや文化祭の中で活動したりする姿は共感を呼び、1年間の活動を経て、全校、さらには地域へと広がりを見せている。 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|--|---------------------------------------|--|---|
| 香川県 | 三豊市立詫間中学校 (みとよしりつ たくまちゅうがっこう) 校長 資延 文一 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 資源回収活動、環境美化月間 資源回収活動・・・15年間 月間・・・20年間 資源回収活動・・・年間4回 月間・・・年間2回 旧三豊郡詫間町内 | 環境美化 環境美化 ・昭和61年 「町内空き缶拾い」という名称で環境美化活動が始まる。 ・平成3年 生徒会役員の中から「限りある資源をもっと大切にしよう」という声ので資源回収活動が始まる。 ・平成8年 資源回収活動の高まりとともに自分たちの住む地域の環境美化活動にもっと積極的に取り組もうという機運が高まり、生徒会を中心に活動が見直され、各自治会周辺の溝や空き地の清掃、海岸地区では海浜清掃にまで活動が発展する。 ・平成17年 「町内空き缶拾い」を「環境美化月間」と名称を変更して今日に至る。 本校では平成3年より生徒会役員の発案で「限りある資源をもっと大切にしよう」という合言葉の下、資源回収活動が生徒会活動の中心に据えられた。自治会ごとに生徒と保護者が力をあわせてリサイクルできる物品の回収を行っている。収益金については毎年車椅子を6台購入し、地域の福祉施設(2箇所)に寄贈している。現在までに寄贈した車椅子は107台に上っている。この活動を通して地域の環境美化や省資源、福祉等に大きく貢献した。 また、環境美化活動については、当初、「町内空き缶拾い」という小さな活動から出発したが、上述の資源回収活動が軌道に乗るにつれ、生徒会内部からもっと地域をきれいにしようという機運が高まり、自分たちの住んでいる地区の清掃活動全般に活動が広がってきた。空き缶拾いばかりでなく、溝にたまったヘドロの除去や草取り、海岸地区では砂浜に流れ着いたごみの除去活動にも活動が発展していった。 こうした取り組みについては、地域に住む人々からも感謝され、活動への支援・協力が得られている。また、「中学生がこれだけ一生懸命に取り組んでいるのに」という思いから、環境美化に対する住民の意識にも大きな影響を与えている。 |
| 香川県 | 善通寺市立南部小学校 児童会 (ぜんつうじしりつなんぶしょうがっこう じどうかい) 校長 香川 裕昭 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 植樹、植栽等の緑化活動、河川、湖沼、海岸等の浄化活動、公園、道路等の清掃活動、緑化、浄化、清掃、その他美化思想の22年間 約20日間 南部小学校及び全地区(地藏池水辺公園) | 59年6月クリーン作戦を始める。 昭和59年から多年に渡り、地域内の河川、公園、道路及び通学路等の清掃美化活動を行ってきた。学習の一環として、空き缶のポイ捨て禁止や、ごみやたばこの吸殻等の投げ捨て禁止などについてもポスターやチラシで地域住民や道行く人に呼びかけ、地域の自然保護・環境美化意識の普及啓発に尽力した。家庭では、ごみ分別を家族と共に行い、家庭の環境美化意識の向上の一端を担った。また、リサイクル活動も積極的に行っている。 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|----------------------|-------------------------------|---|--|
| 愛媛県 | 松廣 千里 (まつひろ ちさと) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 地域環境美化活動 28年 84日 宇和島市大宮町 昭和53年 4月～昭和56年3月 婦人教育推進委員 昭和56年 6月～昭和59年2月 鶴島校区婦人会副会長 昭和59年 6月～昭和62年3月 天神校区婦人会会長 昭和62年 6月～平成13年3月 大宮町1丁目(西)自治会長 | ・昭和53年4月～平成13年3月(計23年0月) リヤカー・自転車による資源ゴミの回収 ・平成2年4月～現在(計16年3月) 月3回×12月 計36回 町内の朝・夕における犬糞の始末、公園の砂場・遊具の管理 ・平成5年4月～現在(計13年3月) 月3回×12月 計36回 辰野川の清掃作業の率先・垂範 ・平成10年4月～現在(計8年3月) 月1回×12月 計12回 ゴミステーションの監視・管理・清掃 【表彰歴】 平成5年12月 3日 宇和島市美化運動委員会会長賞(社会福祉協議会) 平成9年 2月21日 社会福祉協議会会長賞(社会福祉協議会) 平成12年 6月 8日 地区防犯協会・警察署長賞(警察署) 平成13年 4月22日 市長・連合自治会長表彰(連合自治会) 平成14年 2月 5日 生活環境美化運動(愛媛県コミュニティ推進協議会) 平成16年 6月24日 生活環境づくり功労者知事表彰(愛媛県) |
| 長崎県 | 山下 茂一 (やました しげいち) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 清掃 26年間 124回 長崎県大村市玖島江迎町内 公園(336㎡)、河川(360m) | 昭和55年より、町内公園の美化には常に気を配り、町内に流れる河川の草刈、清掃等を率先して行われ、町内の環境美化に貢献されています。 また、町民の融和、誠心を提唱して町内親睦を図っており、花いっぱい運動を推進し、各家庭に対し花植を奨励して町内美化にも貢献されています。 【表彰歴】 平成17年 8月大村市保健環境連合会保健環境功労者表彰 平成17年10月 長崎県環境美化功労者表彰 |
| 長崎県 | 中野 一郎 (なかの いちろう) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 清掃 17年間 104回 長崎県大村市西大村本町町内 グラウンド(1,500㎡) | 平成元年より、町内会や子ども会が実施する資源物収集の手伝いを手始めに、町内の草刈、清掃等を積極的に行われています。 また、平成10年4月からは、自ら有志を募って組織した「西友会」では町内の資源物の回収や公園及び神社等の清掃・除草活動を率先して行われ、町内の環境美化に対し多大な貢献をなされています。 【表彰歴】 平成3年 7月大村市保健環境連合会保健環境功労者表彰 平成17年 7月大村市保健環境連合会保健環境功労者表彰 平成17年10月 長崎県環境美化功労者表彰 |
| 長崎県 | 田中 隆三 (たなか りゅうぞう) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 清掃及びごみ分別指導等啓発活動 14年間 124回 長崎県大村市富の原2丁目町内 公園(1,500㎡) | 平成4年より、町内の公園を週2回の清掃活動を行っておられます。また、ごみの減量化を図るため、資源、不燃ごみの分別指導を行い、月1回の老人会の定例会時に公民館清掃を行ったのち、講師を招いてごみ分別等の環境美化啓発活動を実施しており、町民の先頭に立って、意識の啓発、知識の普及の功績があり、環境美化に多大な貢献をなされています。 【表彰歴】 平成17年 8月 大村市保健環境連合会保健環境功労者表彰 平成17年10月 長崎県環境美化功労者表彰 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|--|-----------------------------------|---|---|
| 長崎県 | 諫早市青年団高来支部 (いさはやしせいねんだんたかきしぶ) 団長 芦塚 賢治 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 清掃活動 44年間 12日 長崎県諫早市高来地域内の国道207号線沿い (約10m×28ヶ所) | 昭和37年の結成以来現在まで、毎月第2日曜日の早朝、国道207号線沿いのバス停付近を中心として28箇所延長10mの清掃活動を自主的かつ積極的に実施されています。 平成14年10月 長崎県環境美化功労団体表彰 |
| 熊本県 | 熊本県阿蘇郡小国町立万成小学校 (くまもとけんあそぐんおくにちょうりつまんせいしょうがっこう) 校長 柄原 哲愼 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 木炭作りとプールの水浄化、通学路のごみ拾い、わいた山登山道植樹活動、生活排水を木の根元にまく活動 9年間 180日(毎日の活動に位置づけている) 学校及び校区内で活動している。 | 平成9年12月 全学年の児童が加入する「まんせい緑の少年団」が設立され、毎月15日に通学路のごみ拾い登校を始め、現在に至る。 平成10年4月 河川の汚濁防止のため、掃除や習字、図画等で使用した生活排水を川に流さず、子どもたちの手により木の根元にまくことを始める。 平成10年11月 保護者の協力を得て、登山道のわいた山登山道植樹活動を始めるなど緑化活動に努め、現在まで毎年行っている。 平成13年3月 環境浄化を目的として、まんせい炭焼き窯が作られ完成に至る。この窯を「まもる君」と命名する。 平成14年2月 前年に完成した炭焼き窯で親子炭焼きを行い、できあがった炭をプールの浄化に使うようにし、現在まで毎年行っている。 平成16年7月 城北ブロックPTA研修大会において、これまでの「まんせい緑の少年団」を中心とした本校の環境緑化、環境美化活動等についての発表を行う。 「まんせい小 緑の少年団」は、筑後川の源流に位置する小国町立万成小学校の全校児童を団員として平成9年に発足。「ミナマタ現地学習」という形で公害の恐ろしさと自然環境を守ることの大切さを学びながら、以下のような活動を行っている。 1 「まんせいの森ボランティア植樹」 筑後川の源流域において、年3、4回の植樹活動を実施。植樹のための苗木についても、学校に育樹園を作って、種から育てている。 2 「ゼンマイ募金運動」 地元の農家の協力を得ながら、山菜のゼンマイを収穫・加工・販売して、その益金を各方面へ募金している。 * 募金先の例: 洞爺湖温泉小学校、三宅村立小学校、カンボジアの小学校 3 生活排水の処理 筑後川の上流で生活していることから、きれいな川に汚い生活排水をそのまま流さないように、掃除に使った水などの学校での生活排水をバケツにためて木の根本にまいている。 4 木炭、石鯿づくり 学校に「まもる君」という炭焼き窯を設置して、地域の炭焼き名人の指導を受けながら木炭を焼き、できあがった木炭はプールの水質浄化のために使用。また、給食センターから使用済みの天ぷら油をもらってきて、手作りの石鯿を作り、学校はもちろんのこと、各家庭にも配布している。 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|------|---------------------|---|---|--|
| 大分県 | 井福 芳彦 (いふく よしひこ) | 対象活動 普及啓発活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 市道・県道の清掃活動及び環境美化意識の普及啓発活動 平成4年から現在まで 14年間 毎日(悪天候及び体調不良の日を除く) 住居周辺の市道及び県道(約3~5km) | 平成4年 住居周辺の清掃活動開始(至現在) 平成10年 8月 大分県公害監視員委嘱(~平成12年7月31日) 平成12年 6月 県の産業廃棄物住民モニター委嘱(~平成14年3月31日) 平成4年より現在まで、自宅周辺の市道・県道に捨てられた空き缶や煙草の吸殻などを約3~5kmにわたりほぼ毎日清掃するとともに、月に一度は一日がかりで国道500号線の清掃にも取り組んでいる。 その地道な活動は、様々な団体が清掃活動に従事する呼び水となっただけでなく、市内の清掃ボランティア団体数の増加や市民のマナーアップにも繋がっている。 また、地域の会議の際に参加者へごみ拾いの実践を呼びかけるほか、子供たちに自身の体験を話し、ともに清掃活動を実施することで環境美化意識の高揚を図る、あるいは清掃範囲を宇佐市安心院地域全域に広げ活動を一層発展させるなど、環境美化に多大なる貢献をしている。 【表彰歴】 平成15年11月 安心院町(現宇佐市)長表彰(環境美化功労) 平成17年 4月 ごみゼロおおいた作戦功労者知事表彰(環境美化功労) |
| 鹿児島県 | 宮地 行雄 (みやじ ゆきお) | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 清掃・美化活動及び町内への普及活動と指導 17年間 ほぼ1年間、毎日活動を行う。 町内全域 【表彰歴】 平成6年10月 東串良町振興会 町長表彰(社会福祉部門) 平成7年6月 肝属地区衛生自治団体連合会 地区衛生自治団体連合会表彰 平成12年11月 東串良町振興会 町長表彰(社会福祉部門) 平成16年11月 東串良町振興会 町長表彰(社会福祉部門) | 過去十数年にわたり、天候の良し悪しに関わらず、ほぼ1年間毎日、柏原海岸清掃や地域の空き缶やゴミ拾いによる美化活動を行っている。また、早朝には、ゴミ収集所の巡回を行い、ゴミの出し方や分別方法の指導など地道な活動を続けている。特に柏原海岸(日南海岸国定公園内)での清掃活動は、地域住民にも影響を与え多くの住民がボランティアとして参加するなど大きな活動まで発展し、東串良町全体の環境保全意識の向上に大きく貢献したといえる。 また、昭和63年4月から東串良町衛生自治団体連合会の理事、平成12年5月から同会副会長としても会の運営や構成者育成にも尽力されている。 平成8年6月 鹿児島県衛生自治体連合会 鹿児島県衛生自治体連合会長表彰 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|------|---|-----------------------------------|--|---|
| 鹿児島県 | 株式会社 吉留組 (かぶしきがいしゃ よしどめぐみ) 代表取締役 西元 勇 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 清掃・美化活動 約15年 会社挙げての定期清掃年7回。その他にも 台風後の海岸清掃を行う。年10回程度 町内全域 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成5年～7月 柏原海岸清掃活動 参加人25名 提供機材 ショベルカー、ダンプトラック ・平成2年～7月 道路清掃活動 参加人15名 提供機材 ショベルカー、ダンプトラック ・平成10年～8月 河川清掃活動 参加人10名 提供機材 ショベルカー、ダンプトラック ・平成13年～10月 土地改良施設ボランティア清掃活動(肝属地域農業農村整備事業推進協議会主催) 参加人10名 提供機材 ショベルカー、ダンプトラック ・平成14年～6月 肝属川海岸清掃活動(水質汚濁防止連絡協議会主催) 参加人11名 提供機材 ショベルカー、ダンプトラック <p>平成2年、前会長時代より長年にわたり自主的な活動を行っている企業である。年7回行われる会社を挙げての美化活動では、会社の機材(ショベルカーやダンプトラック)を無償で提供し大規模な清掃活動を行っている。また、鹿児島県は台風の多い地域でもあるが、台風直後には真っ先に柏原海岸(日南海岸国定公園内)の清掃を行っている。これらの功績が認められ平成17年3月9日に県知事賞(海岸愛護運動)を受けている。</p> |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功 績 |
|-----|--|-------------------------------|--|---|
| 札幌市 | 藤野地区町内会連合会 (ふじのちくちょうないかいれんごうかい) 会長 田中 義一 | 対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 植樹、植栽等の緑化運動 30年 60日以上 札幌市南区藤野地区 | <p>昭和44年 5月 藤野地区町内会連合会 発足 昭和52年 5月 歩道植樹樹花壇実施（毎年実施） 平成 9年 - 月 藤野地区まちづくりビジョン策定、藤野地区まちづくり委員会設立 平成13年 5月 ガーデニング講習会、先進地の見学（花めぐりウォーキング）開催（毎年開催） 平成14年 8月 ガーデニングコンテスト（毎年実施）、花愛好会藤野設立 平成15年 4月 花いっぱい運動推進委員会設立 平成17年 4月 国道ボランティア・サポート・プログラム導入（継続予定）</p> <p>藤野地区町内会連合会は、藤野地区の19の単位町内会によって構成されており、豊かな自然に恵まれた街を守り・活かすことと、支えあうやさしさと暖かい心を育むことを柱とする「みどりと花と福祉のまち藤野」を基本理念として、まちづくりに取り組んでいます。</p> <p>地域における環境美化の取組みについては、「歩道植樹樹花壇作り」を札幌市の取組み当初である昭和52年から実施しています。その後、まちづくりビジョンの基本理念に基づき、「花めぐりウォーキング」や「ガーデニングコンテスト」の開催を始めたほか、単位町内会、商工会、花愛好会藤野、老人クラブ、小中学校によって組織する「花いっぱい運動推進委員会」を設立し、地域の連帯感を醸成しつつ「花いっぱい運動」を展開し、より積極的な地域環境活動を通して、住民の交流や地域の連帯感を高めることに努めている団体です。</p> <p>【平成18年度活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町内会ごとの花壇の造成 ・植栽の実施 ・地域主要道路の植樹樹への花植え ・園芸講習会の開催（年2回） ・ガーデニング・コンテストの開催（8月） ・国道230号線における国道ボランティアサポートプログラム導入による植樹樹への花植え ・札幌市と「緑の協定」締結予定" <p>昭和54年度、昭和63年度、平成5年度 札幌市ます花壇優良製者表彰 市長表彰（札幌市主催）</p> |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-----|--------------------------|--|---|---|
| 川崎市 | 弾塚 誠 (だんづか まこと) | 対象活動 多摩川美化活動、市内統一美化活動、ポイ捨て禁止キャンペーン 従事年数 23年間 年間活動日 30日 活動範囲 多摩川河川敷(港町水門～殿町公園)、JR川崎駅東口周辺、富士見1丁目町内会全域 昭和57年12月～現在 富士見1丁目町内会会長 平成6年4月～現在 中央地区連合町内会会長 平成14年4月～現在 川崎市美化運動実施川崎支部中央地区地区長 平成16年5月～現在 川崎市美化運動実施川崎支部 支部長 平成16年6月～現在 川崎区連合町内会 会長 | 多摩川美化活動、市内統一美化活動、ポイ捨て禁止キャンペーン 昭和57年12月～現在 富士見1丁目町内会会長 平成6年4月～現在 中央地区連合町内会会長 平成14年4月～現在 川崎市美化運動実施川崎支部中央地区地区長 平成16年5月～現在 川崎市美化運動実施川崎支部 支部長 平成16年6月～現在 川崎区連合町内会 会長 | 平成14年に川崎市美化運動実施川崎支部中央地区地区長に就任し、川崎区中央地区で視察研修会等の企画・実施に携わり、美化意識の向上を図った。さらに、同年より川崎市美化運動実施川崎支部副地区長として、多摩川美化活動、市内統一美化活動等区レベルの美化運動の企画・実施にも積極的に携わっている。その功績により平成16年より、美化運動実施川崎支部支部長に就任している。また昨年10月まで毎月1日に実施していた川崎駅東口周辺のポイ捨て禁止キャンペーン等の啓発活動にも積極的に参加し、昭和57年より就任している富士見1丁目町内会会長としても、永年に渡り町内会での美化活動を率先して実施をしている。 上記のような美化運動に対する積極的な活動により地域住民からの絶大なる信頼を得ており、毎年開催している多摩川美化活動などの区レベルの行事参加者が年々増加している。 平成16年度神奈川県美化運動推進功労者表彰受賞 |
| 川崎市 | 熊倉 忠三郎 (くまくら ちゅうざぶろう) | 対象活動 公園・道路等の清掃活動、河川等の美化活動、緑化推進活動、美化思想の普及啓発活動 従事年数 30年 年間活動日 年20回程度 活動範囲 木月伊勢町町内会を中心に住吉地区及び中原区全域 平成13・14年 中原区町内会連絡協議会 会長 川崎市美化運動実施中原支部 支部長 川崎市全町内会連合会 副会長 | 公園・道路等の清掃活動、河川等の美化活動、緑化推進活動、美化思想の普及啓発活動 平成13・14年 中原区町内会連絡協議会 会長 川崎市美化運動実施中原支部 支部長 川崎市全町内会連合会 副会長 | 氏は、町内会の副会長に就任以来、30年間にわたり町内会の公園清掃や除草、道路清掃等、美化活動においても指導力を発揮し、地域の環境美化に尽力している。また、現在も会計を務める川崎市美化運動実施中原支部では、平成13・14年度の支部長として、多摩川美化活動や市内統一美化活動、区内美化活動において陣頭指揮を執り、清掃活動と路上違反広告物の撤去活動を通して、区内全域の環境美化に大きく貢献した。さらに、緑化推進キャンペーンへの協力や、花いっぱい教室を美化中原支部として積極的に開催するなど、花いっぱい活動にも取り組んできた。その上、駅周辺の放置自転車対策にも、町会長として、また、交通安全対策協議会役員としても取り組み、「きれいで住みよいまちづくり」を日々実践している。 平成16年度 神奈川県美化運動推進功労者表彰受賞 |
| 川崎市 | 長瀬 律子 (ながせ りつこ) | 対象活動 清掃活動、多摩川美化活動、市内統一美化活動 従事年数 42年 年間活動日 20日 活動範囲 川崎市高津区全域 | 清掃活動、多摩川美化活動、市内統一美化活動 平成13年 川崎市高津区全域 | 氏は、多年にわたり川崎市美化運動実施高津支部推進委員として、地域住民の美化に対する意識を高めることに尽力されている。さらに、平成9年からは副支部長として、多摩川美化活動、市内統一美化活動等を積極的に推進し、区民の美化活動に対しお解を深め、高津区全域の美化活動の活性化のため努力されている。また、平成17年度から川崎市美化運動実施高津支部で、20万人ほどの参加者がある高津区民祭でゴミ出しマナーアップ運動を始めたが、この運動にも積極的に参加し、美化活動についての啓発活動を行なった。これらの活動を通じ、地域住民の美化意識を高めることへの貢献はまことに多大である。 昭和39年 4月 川崎市美化活動実施高津支部 美化推進委員 平成 9年 5月 川崎市美化活動実施高津支部 平成13年度 神奈川県美化運動推進功労者表彰受賞 |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|------|---|--|--|--|
| 名古屋市 | <p>天白区安心・安全で快適なまちづくり協議会 <small>(てんぱくくあんしん・あんぜんでかいてきなまちづくりきょうぎかい)</small></p> <p>会長 斉藤 圭三</p> | <p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> | <p>区民の積極的な参加による、美化・緑化・ごみ減量意識の普及啓発活動と実践活動 昭和50年から継続中 年間を通じて 天白区全域</p> | <p>『ノーポイ運動』の実施 『クリーンキャンペーン』の実施 『町を美しくする日』の普及推進活動の実施 『地域一斉清掃活動』の実施 『空地进行をきれいにする運動』による空地の美化推進の実施 『違反広告物をなくす運動』による道路の美化推進の実施 『花いっぱい運動』による緑化推進の実施 『犬猫ふん対策啓発活動』の実施</p> |
| 京都市 | <p>西京区民ふれあい事業実行委員会 <small>(にしきょうくみんふれあいじぎょうじっこういんかい)</small></p> <p>委員長 菊池 潤治</p> | <p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> | <p>西京区内一斉清掃 13年 毎年、春(5月中旬)と秋(9~11月)の2回 西京区内各学区・地域の重点地域</p> | <p>京都市が平成9年度に制定した「京都市美化推進条例」を契機として、年2回の「西京区内一斉清掃の日」を設定し実施することで、西京区の美化、環境保全及び区民一人一人の環境美化に対する意識の向上に貢献している。また、行政主催のまちの美化市民総行動や市民主催の一斉清掃に積極的に参加し、環境美化活動に尽力している。 平成12年度 京都府環境保全功労者表彰受賞</p> |
| 大阪市 | <p>北村 栄太郎 <small>(きたむら えいたろう)</small></p> | <p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> | <p>大野川歩行者自転車専用道路のごみの収集等の清掃美化活動 13年(平成5年4月より現在にいたる) ほぼ毎日 大阪市西淀川区百島1丁目街区近辺大野川歩行者自転車専用道路</p> | <p>13年間 大阪市西淀川区大野川歩行者自転車専用道路の美化清掃にほぼ毎日従事し環境美化に努めてきた。美化・美徳意識向上の対する功績は、模範としてきわめて大きいものである。 平成16年9月3日 平成16年度道路・河川などにおける保全、美化運動功労者市長表彰受賞</p> |
| 広島市 | <p>開 フジコ <small>(ひらき ふじこ)</small></p> | <p>対象活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> | <p>公園及びその周辺の清掃 54年間 毎日 公園及びその周辺の清掃</p> | <p>54年間にわたり、舟入小学校北側道路、側溝及び舟入第二公園内の落ち葉、小枝や捨てられたごみ類を拾い集めるなど早朝から清掃を行い、公園及びその周辺の環境美化に努めている。 平成16年12月 広島市環境美化功労者表彰(環境美化永年活動10年表彰)</p> |

| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
|-------|---------------------|-----------------------|--|---|
| 県別 | 氏名 | 活動内容 | | 功績 |
| 中部事務所 | 藤澤 繁雄 (ふじさわ しげお) | 対象活動 | 中部山岳国立公園上高地及びその周辺山岳地域における美化清掃活動、公衆衛生活動、美化啓発活動等を行うことにより、そのすぐれた自然環境を保護し、国立公園として適正な利用を促進する。 | 中部山岳国立公園の核心部である上高地は現在年間約150万人が訪れる我が国を代表する山岳観光地であるが、昭和31年に小説「氷壁」の新聞連載がはじまったのを契機として、それ以後たくさんの登山者や観光客が来訪するようになった。これに伴い多くのゴミが放置される事態となった。 上高地を美しくする会は、こうした状況を背景として地元の方々により昭和38年6月に発足した。国立公園清掃活動費の国庫補助制度がはじまった昭和49年度よりかなり前から、自分たちの周辺の美化清掃活動を独自に行っており、全国の国立公園各地にある清掃団体の先駆け的な存在である。地元の会員による美化清掃活動、公衆衛生活動、美化啓発活動が評価され、昭和50年には「上高地を美しくする会」として自然公園関係功労団体の環境庁長官表彰を受賞している。 氏は、平成5年から上高地を美しくする会の副会長を、平成13年からは会長を務め、当会会員が行う活動を統括してきている。氏は、その温厚な性格と調整能力によって会を統率し、活動の活性化と適正かつ円滑な運営に多大なる成果を上げてきた。また、上高地自動車利用適正化連絡協議会理事として当地におけるマイカー及び観光バス規制についてもその適正化に多大なる理解、協力をいただき上高地の自然環境の保全と適正利用、大気環境の浄化に貢献されてきた。さらに上高地公共下水道事業運営委員会の委員及び会長として上高地及び梓川の環境衛生と浄化に努めてこられてきた。上高地ではこれだけ多くの観光客が訪れるにもかかわらず、ほとんどゴミが落ちていず、トイレ等も清潔に保持され、清澄な空気と梓川の清流が保たれており、そのことが上高地の魅力ともなっており、多くの観光客が訪れ上高地周辺部を含めた圏域の地域振興にも大いに役立っている。当地でのこうした環境の美化、保全、浄化における藤澤氏の貢献は多大なものがある。 昭和61年3月 上高地を美しくする会 委員 平成5年4月 上高地を美しくする会 副会長 平成13年4月 上高地を美しくする会 会長(至 現在) |
| | | 従事年数 年間活動日 活動範囲 | 20年 約200日 中部山岳国立公園上高地 | |